MUSEUM NEWS

2018.12 ► 2019.1

辰野登恵子　ON PAPERS
A RETROSPECTIVE 1969-2012

とき・11/14（水・県民の日）～2019 年 1/20（日）
ところ・2 階展示室
内容・1970 年代にグリッド（格子）やストライプをモチーフとした版画作品で注目を集めた辰野登恵子（1950-2014）は、80 年代以降豊潤な色彩で有機的形象を描く独自の表現を追求、抽象絵画の新たな可能性を示し高い評価を得ました。この展覧会は、辰野の絵画表現を版画およびドローイングの仕事から照射しようとする試みです。油彩制作に並走し、ときにその挑戦を牽引した紙の上の表現は、辰野の画業のクロノロジーに新たな視座を与えてくれるでしょう。
観覧料・1100 円（880 円）、大高生 880 円（710 円）
※（ ）内は 20 名以上の団体料金。中学生以下と障害者手帳をご提示の方（付き添い 1 名を含む）は無料。併せて MOMAS コレクションもご覧いただけます。

《関連イベント》
○トークイベント「辰野登恵子と絵画の現在」
とき・1/13(日)15:00～16:30(開場は 30 分前)
ところ・2 階講堂
登壇者・千葉正也、髙木大地、松井えり菜
内容・辰野登恵子と親交のあった若手画家をゲストに迎え、お話を伺います。
定員・70 名（当日先着順）/ **費用**・無料

○担当学芸員によるギャラリートーク
とき・12/15(土)、1/19（土）各日とも 15:00 から 30 分程度
ところ・2 階展示室
内容・担当学芸員が展覧会の見どころをご紹介します。
費用・企画展観覧料が必要です

○ミュージアム・コンサート「音楽の力は国境を超えて」[整理券制]
とき・12/16(日)14:30～(開場は 30 分前、演奏時間は約 60 分)
ところ・地階センターホール
出演者・植村理葉（ヴァイオリン）、佐藤彦大（ピアノ）
内容・企画展にちなんで、アメリカ、日本の作曲家の作品を馴染みあるクラシックの名曲に交えてお届けします。
定員・60 席（当日 11：00 から 1 階受付で整理券を配布）
費用・無料

辰野登恵子《WORK 80-N-1》1980 年　シルクスクリーン・紙　個人蔵　©辰野剛、平出利恵子

アート体感ワークショップ
MOMAS のとびら

時間・13:30～15:00
対象・幼児から大人まで
費用・『工房』『親子クルーズ（企画展物語）』は５００円。その他無料
申込方法・館内で配布する申込用紙（ホームページからもダウンロード可）によりＦＡＸでお申し込みいただくか、ホームページから直接お申し込みください。

○1 月分のお申込みを 12/1（土）から受け付けます。
1/12（土）　親子クルーズ（企画展物語）[小・中学生＋保護者]
1/19（土）　工房 [小学生～大人]
1/26(土)　わくわく鑑賞ツアー [どなたでも]※申込不要

○2 月分のお申込みを 1/7（月）から受け付けます。
2/9（土）　フリープログラム [どなたでも]※申込不要
2/16（土）　親子クルーズ（MOMAS コレクション）[小・中学生＋保護者]
2/23(土)　親子クルーズ（企画展物語）[小・中学生＋保護者]

9 月 1 日からホームページでのお申し込みが始まりました。スマートフォンからも簡単にお申し込みできますので、お試しください。

MOMAS コレクション（収蔵品展）

2018 年度 第 3 期
とき・10/20(土)～2019 年 1/6(日)
ところ・1 階展示室
観覧料・一般 200 円 (120 円)、大高生 100 円 (60 円)
※（ ）内は 20 名以上の団体料金。中学生以下と障害者手帳をご提示の方（付き添い 1 名を含む）は無料。
※会期中の毎日 14 時から 30 分程度、美術館サポーター（ガイド・ボランティア）が展示作品について解説します。参加には MOMAS コレクション観覧料が必要です。

◇ **セレクション：モネとか斎藤豊作とか**
印象派の画家クロード・モネなど西洋近代絵画に、斎藤豊作など日本の近代絵画を交えて紹介します。
◇ **特集：小茂田青樹**
川越ゆかりの日本画家、小茂田青樹の画業を、スケッチや資料などから浮かび上がる新たな視点を交えてたどります。
◇ **激動／変貌―1940-50 年代の絵画**
白木正一、渡辺武、堀田操、靆嘔など、1940 年代から 50 年代にかけて描かれた作品を紹介します。
◇ **光―線｜空―間**
「速度」や「密度」を手がかりに、マレ、マン・レイ、杉浦邦恵、市川美幸の作品を紹介します。

《関連イベント》
○サンデー・トーク
内容・学芸員が展示作品から 1 点を選んで解説します。
費用・MOMAS コレクション観覧料が必要です。
とき・12/9(日)15:00～15:30
作品・小茂田青樹《麦踏》1919 年
担当学芸員・鴫原悠

小茂田青樹《麦踏》1919 年、埼玉県立近代美術館蔵

2018 年度 第 4 期
とき・2019 年 1/12（土）～4/14（日）
ところ・1 階展示室
観覧料・一般 200 円 (120 円)、大高生 100 円 (60 円)
※（ ）内は 20 名以上の団体料金。中学生以下と障害者手帳をご提示の方（付き添い 1 名を含む）は無料。
※1/12～14 を除く会期中の毎日 14 時から、美術館サポーター（ガイド・ボランティア）が展示作品について解説します。参加には MOMAS コレクション観覧料が必要です。

◇ **セレクション：ユトリロとかパスキンとか**
モーリス・ユトリロなど西洋近代絵画に、日本の近代絵画を交えてコレクションを紹介します。新収蔵品のポール・シニャック《アニエールの河岸》もお披露目します。
◇ **瑛九と光春―イメージの版／層**
瑛九 (1911-1960) と山田光春 (1912-1981) における「版」や「層」に注目し、「イメージの搬送」の過程を探ります。近年収集した瑛九の油彩、フォト・デッサン、コラージュ、山田光春のガラス絵、素描を中心に構成します。
◇ **特別展示：瑛九の部屋**
瑛九《田園》を暗室に展示します。見る人が光をコントロールできます。「絵を感じる」ための特別展示です。

《関連イベント》
○特別ギャラリー・トーク
とき・1/12(土)、1/27(日)、各日とも 15:00 ～ 15:30
内容・新収蔵のポール・シニャック《アニエールの河岸》(1885 年）について、学芸員が解説します。
費用・MOMAS コレクション観覧料が必要です。
担当学芸員・渋谷拓

一般展示室（地階）

※日程・内容は変更される場合があります。最新の情報は各主催者へお問い合わせください。
※展示により開室時間（特に最終日の終了時刻）が異なります。

◆11/28(水)～12/2(日)
第 61 回埼玉県高校美術展（日本画、水彩、油彩、ドローイングほか）……一般展示室 1～4
◆12/4(火)～12/9(日)
第 9 回埼玉植物画の会作品展（水彩）……一般展示室 2
第 5 回ポローニア展（水彩、油彩、彫刻、工芸、パステル、アクリルほか）……一般展示室 3
川内松男写真展「さきたま古と今」（写真）……一般展示室 4
◆12/11(火)～12/16(日)
第 52 回全日本書道芸術展（書、墨象、ペン字、墨アート）……一般展示室 1・2
敏龍彦写真展（水景色）第 8 回敏龍彦ワークショップそれぞれの瞬（写真）……一般展示室 3
◆1/8(火)～1/13(日)
第 22 回凛の会展（水彩、油彩、彫刻、写真）…一般展示室 1・4
◆1/15(火)～1/20(日)
猫とも新聞　猫×人写真展「第二回猫(きみ)がいてよかった」(写真)……一般展示室 2
◆1/16(水)～1/20(日)
SMF 宝船展 2019@MOMAS(現代アート)……一般展示室 1
◆1/22(火)～1/27(日)
第 42 回埼玉国展（油彩、写真）……一般展示室 1
◆1/29(火)～2/3(日)
文教大学教育学部美術専修卒業制作展（日本画、油彩、版画、彫刻ほか）……一般展示室 1

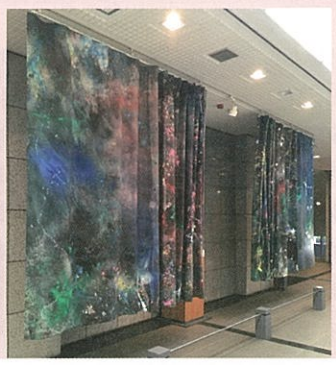
サマー・アドベンチャー
「カラダで発見！絵具の世界」

当館ワークショップ「サマー・アドベンチャー」は今年もたくさんの参加者でにぎわいました。8 月 4 日（土）は、美術家・美術教育研究家の前沢知子さんを招き、たっぷりの絵具にふれて楽しむ体験プログラムを実施しました。

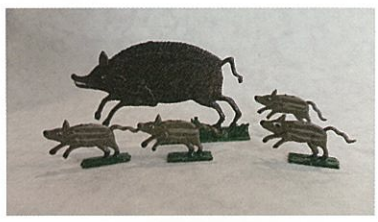
会場の床に 8ｍ四方の白い綿布を敷き、その上を参加した親子が絵具で彩っていきました。始めに、前沢さんが「白い布が何に見えるかな？」と問い、参加者を想像の世界に誘いました。「かき氷、雲、豆腐！」おもしろい回答に会場の緊張もほぐれ、次のステップでは「雪や雲の上を動く動物の真似をしてみよう！」と、這ったり転がったりカラダを動かします。楽しくなってきたところで、カラダに青・赤・緑・黒…絵具をつけて布上を動きはじめます。動物や昆虫になりきって足跡をつけたり、お尻でスタンプをしたり、最初は様子を見ていた子供も、途中から他の友達と交流し絵具の世界を楽しんでいました♪ 足や手形が重なり、色が複雑に混じり合って深みを増し、偶然が生んだ美しさに「ここ、きれい～！」とつぶやく声が聞こえました。

カラダの絵具を落として服を着替え、最後にもう一度みんなで鑑賞すると「空から見おろした街、宇宙大爆発！深海、花火、和紙、きれいなお洋服」という様々な感想がありました。みんなのエネルギーがつまった素敵な作品に感動しました。

さらに、今回できた布生地を、前沢さんに作品に昇華していただき、夏休み期間中展示を行いました。柔軟な心を持っている子供たちは自分が関わった作品をみてどう感じてくれたのでしょうか。前沢知子《組替え絵画 - カーテン２０１８「共鳴、ロダン彫刻と」》と 1 階ギャラリーのオーギュスト・ロダン《ウスタッシュ・ド・サン＝ピエールの頭像》とのコラボレーションは、ワークショップの担当者としても新鮮な挑戦でした。日々のワークショップの軸は、美術館に来て楽しい体験を持ち帰ってもらうことであり、地域と互いに関わり合う美術館を目指すことはまさに「共鳴」です。参加者・美術家・美術作品・学芸員・建物がそれぞれ関係性をもって作り上げる試みをさらに企画していきたいと思います。(T.K.)



ミュージアム・ショップおすすめ商品



オヤ　W53mm　コドモ、W26mm、各￥4,100(税別)

ドイツから季節を彩る商品をご紹介します。いのししファミリーの置物です。日本では新しい年の干支ですね。

こちらは、全員で手のひらに収まるミニサイズでこの小ささが魅力です。窓など奥行き 2cm 程のスペースがあれば仲良く走らせて楽しむことができます。この冬、可愛く飾ってみてはいかがでしょうか。(M.N.)

編集後記

おそらく、これまでで一番文字の多い「拡大号」、いかがでしたか？ご協力下さった方々に、深く感謝します。(G.U.)
ソカロ編集中に Mac が急に動かなくなりヒヤヒヤしましたが、無事作成することができました。拡大号のため「はみだしソカロ」はお休みです。(S.Y.)

埼玉県立近代美術館
The Museum of Modern Art, Saitama

所在地・〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤9-30-1
TEL・048-824-0111　**FAX**・048-824-0119　**URL**・http://www.pref.spec.ed.jp/momas/
代表メール・p240111@pref.saitama.lg.jp
開館時間・10:00～17:30（展示室への入場は17:00まで）
休館日・月曜日 (12/24、1/14 は開館)、12/27～1/4　**入館料**・無料　**観覧料**・上記をご覧ください。
交通・JR京浜東北線 北浦和駅西口より徒歩3分（北浦和公園内）。JR東京駅、新宿駅から北浦和駅まで、それぞれ約35分。
※当館に来館者専用の駐車場はありませんが、提携駐車場「三井のリパーク 埼玉県立近代美術館東」では駐車料金の割引があります（企画展観覧で300円引き、MOMASコレクション観覧で100円引き）。
団体バスは事前にご相談ください。お体の不自由な方のご来館には業務用駐車場を提供いたしますが、台数に限りがありますので予めご了承ください。

発行・埼玉県立近代美術館　**編集**・教育・広報担当 梅津元・谷田昇平　**原稿執筆**・(G.U.) 梅津元 / (T.K.) 笠原たまき / (I.H.) 平野到 /(I.O) 大浦周 / (M.N.) 野溝円香 / (S.Y.) 谷田昇平　**デザイン協力**・埼玉大学 高須賀研究室

©埼玉県2005